

## コンピテンス達成度評価 よくある質問（学生用）

### <評価シート・評価表・カリキュラムマップについて>

Q1. カリキュラムマップの最新版はどこに掲載されていますか。

A. 人文社会科学研究群のウェブサイト（在学生向け情報）に掲載されています。

URL : [https://www.hass.tsukuba.ac.jp/Competences\\_Portal](https://www.hass.tsukuba.ac.jp/Competences_Portal)

他大学院・研究群の開設科目については、全学ウェブサイトに掲載されています。

URL : <https://www.tsukuba.ac.jp/education/policy-tstandard/gstandard/>

### <評価方法について>

Q2. 他組織の科目を履修している場合、コンピテンスの項目が異なったり、数値が振られておらず「○」のみだったりします。どう記載するべきでしょうか。

A. 各学位/サブPにおいて適切な数値を設定しますので、指導教員にご相談ください。

なお、修了要件として認定しない科目の場合、数値の設定は必須ではありません。

また、大学院共通科目は○のみでコンピテンスが振られていますが、研究群独自に数値を設定しています。最新の研究群カリキュラムマップに記載されていない大学院共通科目がある場合には、人文社会エリア支援室大学院教務までお知らせください。

Q3. TA や学会発表等を複数回行った場合、回数分加算してよいのでしょうか。

A. 実施内容（程度・内容・実施場所・評価）を確認のうえ、指導教員が適正に評価します。

Q4. 休学中の活動（フィールドワーク等）はコンピテンスに加算してもよいのでしょうか。

A. 休学中の活動も評価に値するものは加算できます。

Q5. コンピテンスは全項目で基準を達成しなければならないのでしょうか。

A. 全ての項目を達成している必要があります。

Q6. コンピテンス達成度の定期評価の実施期間として想定されている時期に留学等により対面で評価を受けることが困難です。留学前や留学後など別の時期に評価を行ってもらえませんか。

A. 面談時期の変更は可能です。ただし、評価実施回数が標準（前期：5回、後期：7回）より少なくならないように実施します。また、対面に限らず、メールやZoom等のオンラインミーティングといった手段が取れる場合があります。指導教員にご相談ください。

Q7. 留年や休学等により、在学期間を延長した場合は評価を受けなくてもよいのでしょうか。

- A. 休学をせず、在学している場合には評価を受けてください。休学中は評価を受ける必要はありません。ただし、修了までの評価実施回数が標準（前期：5回、後期：7回）より少なくならないように実施します。